



くまた あたか 氏
熊田 恰 (1825~1868)

熊田恰は、幕末期の備中松山藩に仕えた剣術師範であり、藩政に深く関わった人物です。藩校「有終館」で学び、新陰流の剣術を修め、藩主・板倉勝静の護衛役としても活躍しました。熊田は、藩政改革を推進した山田方谷の教えを受けた人物でもあります。方谷が藩で進めた改革により命を粗わられた際、熊田は藩命を受けて方谷の護衛を担当しました。その際、部下の動揺に対して「藩侯第一の宝を守るのは、馬前の討ち死にと何ら変わらぬ」と語り、忠義の本質を示した逸話が残っています。

1868年、鳥羽伏見の戦いで幕府軍は敗北し、備中松山藩は「朝敵」とされます。熊田は藩主板倉勝静の命を受けて藩兵150余名を率いて玉島へ退却をするのですが、岡山藩兵に包囲されるといいう危機に直面しました。この時、藩の恭順の証として熊田に切腹が命じられたとされ、熊田は西爽亭（玉島の旧柚木家住宅）にて自刃します。それにより、玉島の町は戦火を免れ、藩兵の命も救われました。彼の忠義と犠牲は玉島の人々の心を打ち、後に玉島の羽黒神社境内に「熊田神社」が建立され、神として祀られることとなります。



西爽亭（旧柚木家住宅）

熊田恰の生涯は、武士道の精神と藩への忠誠を実践したものと、幕末史の中でも特筆すべき存在です。熊田恰の剣は、ただ敵を斬るためのものではなく、藩を守り、人を守り、そして備中松山藩を陰で支える盾でもありました。

今号の表紙

高梁市立川上中学校

川上中学校3年生は、12名のクラスです。少人数ならではの温かく穏やかな雰囲気の中で、互いの個性や意見を尊重し合い、助け合いながら学びを深めています。



議員となり一年が過ぎました。日々はあっという間に過ぎ、地域の課題に向き合う毎日ですが、市民の皆さまからすれば「何がどう変わったのか」と問われる一年でもありました。

委員会活動や議員、市民との協力の中で、議会を少しでも身近に感じていただけるよう、動画配信や紙面づくりに工夫を重ねてきました。これからも議会に関心をお持ちいただき、市民の皆さまと地域の未来を共に考える場をつくっていきたいと思います。

（長田 伸彦）

12月の定例会スケジュール

11/28	金	本会議（議案の上程）
12/4	木	本会議（一般質問）
5	金	本会議（一般質問）
8	月	本会議（一般質問）
10	水	本会議（議案質疑）
11	木	委員会
12	金	委員会
15	月	（委員会予備日）
18	木	本会議（採決）

※12月定例会への請願・陳情の締め切りは11月20日(木)までです。

※日程は変更となる場合があります。正式な日程は決まり次第、ホームページでお知らせいたします。

政治家の寄付は禁止！
有権者が求めることも
禁止されています！

公職選挙法により、市議会議員が選挙区内でお中元やお歳暮、ご祝儀を出すことは禁止されています。市民から求めることも禁止です。



編集

- 議会広報公聴特別委員会
委員長 森 和之
副委員長 金尾 恭士
委員 川上 博司
委員 宮田 好夫
委員 藤岡 善行
委員 前野 洋行
委員 川上 雅美
委員 長田 伸彦



高梁市議会ホームページ
アクセスはこちら

高梁市議会だより

第64号
2025年11月

高梁市議会だより

2025 11

「ご意見は」こちらまで ■高梁市議会事務局 高梁市松原通2043 ☎0866-21-0277

発行 高梁市議会



9月定例会

令和6年度 高梁市決算認定 厳しさを増す財政状況に質問集中



厳しさを増す 財政状況に 賛同集中

令和7年第3回高梁市議会定例会では、市長提出の議案等15件のうち、4件を認定、残り11件を原案のとおり可決しました。併せて、追加提出された人事案件の議案3件のうち、2件を同意とし、1件を適任としました。

また、各団体から議会に寄せられた請願2件のうち、請願1件を取下げ承認とし、残り1件を趣旨採択としました。前回からの継続審査となっていた陳情1件については、不採択となりました。

野良猫対策の請願を審査

市民文教委員会

市民文教委員会に付託された案件は、認定2件、議案5件及び請願1件の計8件です。

認定2件及び議案5件については、詳細にわたり質疑が行われ、認定第1号「令和6年度高梁市各会計歳入歳出決算認定について」及び認定第2号「令和6年度高梁市国民健康保険成羽病院事業会計決算認定について」は認定すべきものと、その他の議案については、全員一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

また、請願第6号「TNR助成金予算化の請願書」については、委員から長年にわたり飼い主のいない猫の問題を解決するために活動してきた



市民や団体の思いを尊重し、採択すべきだという意見がありました。一方で、今定例会の通告質問の中でもTNR活動に対して市の補助制度創設について、今後具体的に検討していくと答弁があり、ここで具体的な制度設計まで固めるのは若干難しい面があることから趣旨採択すべきとの意見が出されました。

先決動議として採決したところ、賛成多数で趣旨採択すべきものと決しました。

総務産業委員会

ふるさと納税の実績と今後の展望について

総務産業委員会に付託された案件は、認定3件及び議案7件の計10件と前回の定例会で継続審査となった陳情1件です。

認定第1号「令和6年度高梁市各会計歳入歳出決算認定について」は、委員から審査において、今後の財政見通し、ふるさと納税など自主財源の確保、基金の運用状況、労働時間の状況、各種施設の管理状況、各種団体等への補助金の運用状況など、詳細にわたり質疑がなされました。

次に、認定第3号「令和6年度高梁市水道事業特別会計決算認定について」の審査においては、有収率の状況、料金の収納状況、各種施設の管理状況など、詳細にわたり質

疑がなされました。いずれも、慎重に審査を行ない、認定3件については全員一致で認定すべきものと議案第69号から議案第73号まで並びに議案第78号及び議案第79号の議案7件については、全員一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、継続審査の陳情第2号「高梁国際ホテル運営協議会設置に関する陳情書」については委員から、既に市と株高梁国際ホテルとの間で協議が行われ1年間の賃貸借契約期間延長が成立しており、議会としても任意の協議会を設置していることから、高梁国際ホテル運営協議会を設置する必要はないという意見があり、全員一致で不採択とすべきものと決しました。

ふるさと納税



高梁市の財政指標

経常収支比率 96.7%(96.0%)

財政の弾力性を示す指標。70~80%が理想。100%に近いほど自由に使えるお金が少ないことを意味する。

実質公債費比率 11.3%(11.3%)

借金の返済額が財政規模に占める割合。18%以上になると、地方債の発行に総務大臣の許可が必要になる。

将来負担比率 57.9%(48.1%)

借入金など将来支払う負担額の残高の程度を示す。350%以上になると「早期健全化団体」となる。

※()内は前年度決算

財政は依然、厳しい状況



令和6年度決算では、財政の健全性を見るための3指標の中で、経常収支比率は悪化しており、財政状況は依然厳しい状況です。

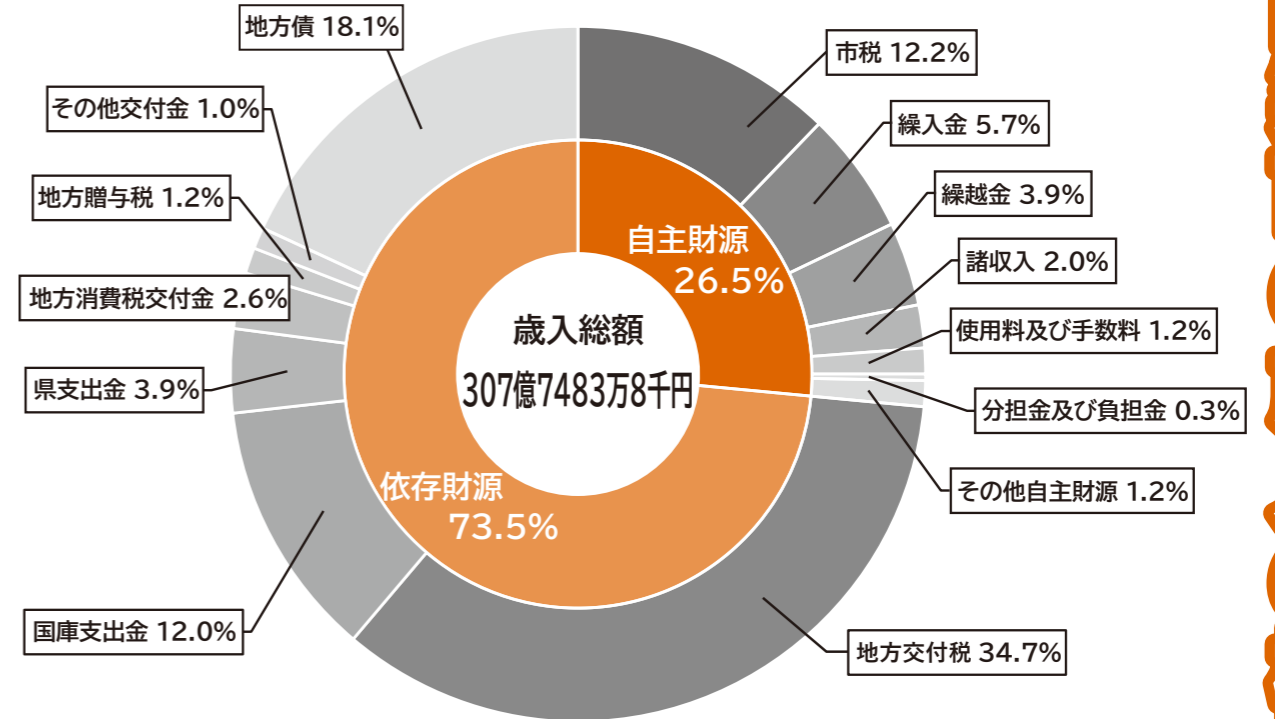
健全な財政運営は、地域経済や市民生活の安心・安全にも直結するものであります。持続的な行政運営のために、より一層の行財政改革が必要となってきます。

議会全員協議会開催

高梁市の歳入の構造について

令和6年度歳入は普通会計で307億7483万8千円となりました。市が独自に調達できる「自主財源」は81億5901万円で、国や県などに依存している「依存財源」は226億1582万8千円で、歳入全体の7割以上を国や県などに依存していることになります。

令和6年度歳入構造(普通会計)



普通会計とは、一般会計と特別会計のうち公営事業会計（上水道・下水道等の公営企業会計及び国民健康保険事業特別会計等）以外の会計を統合して一つの会計としてまとめたもの。

基金(預金)の状況について

高梁市には全部で33項目の基金があり、それぞれの基金の目的に沿った支出が行われています。令和6年度の基金残額は全体で83億7949万円で、令和5年度に比べ7億7756万9千円（8.5%）減少しています。

また、災害などの不測の事態や年度間の財源不足に備えるための預金である「財政調整基金」の残高は19億2846万4千円で令和5年度より1億1021万4千円（6.1%）増加しています。これを市民一人あたりにすると約7万5千円となります。

地方債(借金)の状況について

高梁市の借金である地方債の借入金は、全体で329億2401万円となっています。このうち「臨時財政対策債」を除けば267億6688万円で、令和5年度に比べ26億8930万円（11.2%）増加しています。これを市民一人あたりにすると、約105万円となります。

「臨時財政対策債」とは、国から地方自治体に交付される「地方交付税」の財源が不足した場合に、その不足分を一時的に地方自治体が借入れを行う地方債のこと

8月22日に議会全員協議会が開催され、執行部から「高梁市総合計画後期基本計画について」、「高梁市行財政改革について」の説明がありました。

高梁市総合計画 後期基本計画について

市のまちづくりの指針となる総合計画は、令和3年度から令和12年度までの10年計画であり、本年度で前期基本計画の5力年が終了。現在、来年度から5年間の後期基本計画を策定しています。後期基本計画は、人口減少や少子化の進行、地域経済や暮らし方の変化等、本市を取り巻く環境の変化を正面から受け止め、市民が将来にわたって安心して暮らせるまちづくりのための道筋を示す極めて重要な指針となり、前期基本計画の成果を着実に引き継ぎ、必要な改革や新たな挑戦にも積極的に取り組む必要があると報告がありました。

議員からは、重要業績評価指標（KPI）の達成状況や人口ビジョンの見直し、市の実情に即した計画策定に取り組むべき等の意見や質問がありました。

高梁市行財政改革について

令和6年度からの第4次行財政改革プランに基づき、財政規模に見合った歳出構造への転換を進め、将来にわたって持続可能な行財政運営を目指し、現在、その取り組みが進められています。

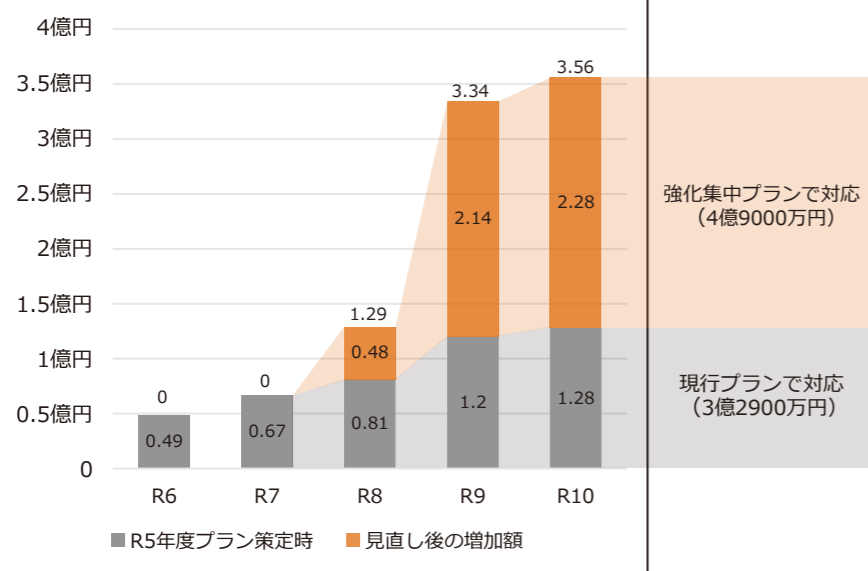
しかし、昨今の急激な物価高騰や人件費の上昇等、本市を取り巻く社会環境が加速度的に変化している中、今後、経常収支比率が100%を超える試算が出るなど、想定を上回る収支不足が見込まれています。このため、現在の行財政改革プランの取り組みに加えて、緊急で3年間の強化集中プランを策定し、危機的状況に対応していきたいとの説明がありました。

議員からは、人件費や基金、市税等に関する質問があり、行政、議会、市民を含めたオール高梁で取り組む必要があるとの意見がありました。

「総合計画」とは

本市が目指す都市像とそれを実現するための施策の方向性を明らかにする市の最上位計画です。さまざまな施策や事業を総合的かつ計画的に推進するための行財政運営の基本方針を示すものであり、高梁市が進むべき羅針盤、指針としての役割を担っています。

収支不足額



当初の計画を立てたときには、令和8年度から令和10年度の3年間で約3億2900万円の収支不足を見込んでいました。しかし、急激な物価高騰・賃金上昇により、令和6年度決算を基に改めて試算したところ、令和8年度から令和10年度の赤字は約8億1900万円に増える見込みとなり、当初の見込みより約5億円の財源不足が追加で生じています。



議会 ニュース



地方こそ可能性あり
—第55回県市議会議員研修会より—

8月8日、岡山県内の市議会議員が一堂に会する「第55回岡山県市議会議員研修会」が井原市で開催され、(株)日本総合研究所主席研究員の藻谷浩介氏から「人口減少社会における新たな地域の可能性」と題した講演を伺いました。



岡山県市議会議員研修会

講演では「対策を考える前に、現実を正しく把握することが大切」との視点が示されました。治安について「昔の方が良かった」と思われがちですが、実際には現在の方が殺人件数は大幅に少なくなっているなど、数字で見直すことで新しい気づきが得られることが紹介されました。

また、高梁市を含む県内各地の人口動向にも触れられました。特に、中山間地域では高齢者人口がすでに減少に転じており、地方には「子どもが増える可能性」があるとの指摘もありました。

藻谷氏は「地方は人口が減っても世界的に見れば『過疎』で

はない。公共サービスや商売も十分成り立つ」と強調されました。人口減少を悲観するのではなく、地域の資源を生かした新しい暮らし方や支え合いをつくるのが未来につながるの考えです。

高梁市議会としても、こうした知見を共有し、現実を踏まえた上で政策を検討していく必要があると改めて感じました。人口減少や高齢化という課題を、市民の皆さまと共に前向きに乗り越えていけるよう、今後も学びと議論を深めてまいります。

総務産業委員会 管内行政視察

有漢工業団地

有漢工業団地の管内行政視察を行い、追加工事の必要性について説明を受けました。第一期に立地した興和紡(株)の施設も併せて見学し、地域産業への貢献と今後の高梁市発展への



有漢工業団地

の大きな期待を実感しました。

落合雨水ポンプ場

落合町阿部地区に建設中の「落合雨水ポンプ場」について管内行政視察を行いました。



落合雨水ポンプ場

このポンプ場は、平成30年7月豪雨と同規模の降雨にも対

高梁国際ホテル検討協議会

応じける設計となっており、今後の浸水被害を大きく軽減する効果が期待されています。現在工事が進められており、令和8年から本格的に稼働を開始する予定です。

備中たかはし松山踊りに
市議会連で参加しました

8月15日、県下三大踊りの一つである「備中たかはし松山踊り」団体連踊り競演会に市議会連として参加しました。この日も35度を超える猛暑日でしたが、皆で楽しく踊ることができ、参加賞もいただきました。



高梁国際ホテルの諸課題は、議会だより第63号の特集「どうなる高梁国際ホテル」に詳しく取り上げています。高梁国際ホテルは、平成9年8月に民間資本で開業しましたが、事業者の撤退により平成13年には建物を市有化し(株)高梁国際ホテルとの賃貸借契約に基づき順調に運営してきました。しかし、新型コロナウイルス感染症の蔓延以降は利用者が大きく減少し現在に至っており、加えて、建設から28年経過し、施設の老朽化も進むなどして諸課題を抱えています。

5月の全員協議会での報告では、令和4年に(株)高梁国際ホテルから経営計画書とアクションプランが提出され、これらに基づいて市は(株)高梁国際ホテルと今後の在り方についての協議を進めていました。しかし、経営陣と市との間で認識の相違があり、協議は平行線を辿っているとのことでした。

(株)高梁国際ホテルの経営形態の変更は、当時の議会の判断でもあり、また建物は市有財産でもあることから、議会としても調査検討が必要と考え、3期以上の議員を主体とした高梁国際ホテル検討協議会を任意で6月26日に設置しました。調査は、主として市と(株)高梁国際ホテルとの認識の相違について、双方から聞き取りを行うとともに、開業当時の高梁市関係者からも意見聴取をする中で、ホテル運営上の新たな課題が明らかになるなど解決の糸口は見出せませんでした。

現在まで高梁国際ホテルがシティホテルとして市政振興に寄与してきたことを認識しつつ、今後この施設を維持していくのかどうかも含め、議会として真剣に考える必要があります。



一般質問

こころを聞きました!

9/5 (金)



長田 伸彦

- 電話で相談ができる体制「#7119」と救急体制について
- 市の公的医療機関、介護施設の現状認識について
- 地域おこし協力隊について
- 安心して避難できる地域防災体制について
- 厳しい財政状況の中で、市民への説明と市長の姿勢を問う



前野 洋行

- 農業振興と農地について
- 吉備国際大学について
- 地方創生2.0について
- 観光振興について



川上 雅美

- 高梁市少額物品調達等契約希望者簡易登録制度及び入札参加資格制度について
- 成羽美術館について
- 伯備線開通100周年について



小林 重樹

- 公共施設の維持・管理について
- インフラ老朽化の課題と今後の取組について

9/8 (月)



藤岡 善行

- 市発注の契約について
- ごみ処理について
- 小中学校及び義務教育学校の暑さ対策について
- 農業の振興について
- 鳥獣被害対策について
- 市民からの要望に対する対応について



松岡 隆雄

- U I J ターン者に対する自治体の支援に関すること
- 他市町村の保育所・幼稚園への入所・入園の現状把握と連携に関すること



平松 久幸

- 今後の財政見通しと行財政改革の取組について
- 観光への取組について
- 学校給食の民間委託について
- 世帯向け賃貸住宅の拡充について
- 公共施設跡地の活用方法について
- 猛暑を見据えた熱中症対策の強化について



金尾 恭士

- 観光施策について
- 災害対応について
- 教育施策について
- 生ごみ処理の対策について
- 農業施策について
- 消防施策について
- 総合計画後期基本計画と行財政改革について
- 市長の公約実現の進捗状況について

9/9 (火)



森 和之

- 成羽病院の経営改善について
- 市の備品処分について
- 子供乗せ自転車について
- 七恵比寿神社について
- 「見返りの榎」について



小黑 ゆかり

- 助産院について
- 給食センターについて



榎 隆宏

- 行財政改革について
- ふるさと納税について
- 市有林について
- 備中松山城について
- 職員の派遣について



宮田 好夫

- 岡山北エバーグリーン（株）の事業許可取消しについて
- これからの行財政運営について
- 野良猫について

平松 久幸 議員

金尾 恭士 議員

藤岡 善行 議員

請願第6号「TNR助成金予算化の請願書」に対し委員長報告「趣旨採択」には反対の立場で討論する。
認定第1号4号、議案第69号79号は委員長報告を了とし賛成する。陳情第2号「高梁国際ホテル運営協議会設置に関する陳情書」も委員長報告を了とする。高梁市はTNR活動の推進、飼い主のいない猫の里親探し譲渡活動に関する取り組みを行う団体を環境保全活動の一環として支援する方向である。この地域猫活動の請願は「猫城主さんじゅーろーの町」としての影響力も考慮してもらいたい内容でもある。

上程された認定、議案、陳情第2号に対しては委員長報告を了とし賛成する。ただし、請願第6号については反対の立場から討論を行う。
経常収支比率について、2年前の行財政改革プランの数値と今回の悪化要因が人件費、社会的要因との説明があったが、これまでの大型事業、ハコモノ建設が影響しているのは明らかである。
次に、請願第6号「TNR助成金予算化の請願書」については「趣旨採択」に反対である。県内でもTNRへ補助する自治体は増加している。今定例会の通告質問において、市側のTNR補助金に対して前向きな答弁があった。まさに大きな一歩である。今定例会で採択することが必要であった。議会が非寛容なのは動物愛護に反する。

認定4件、議案11件及び請願2件の内、認定第1号、請願第6号に反対し、他の議案については委員長報告を了とする。令和6年度一般会計決算では、多年にわたる大型公共事業の推進や、行革による市民サービスの低下が見られる。また、森林環境譲与税は市民生活に直接役立つようにすべきだ。国保では、約5億円もの基金があり、「国保税を少しでも減額してほしい」との声がある。市民は、物価高騰や社会保険料の増額などで毎日の暮らしが大変である。市民には希望や安心感、市職員には、やる気や達成感につながる市政にすべきである。
請願第6号について、委員長報告は「趣旨採択」であるが、「猫の問題」は、地域や市民生活の一部と捉え対応すべきなので、採択すべきである。

9月定例会で賛否が分かれた議案の採決結果

議案番号	件名	榎	前野	川上雅	藤岡	小黑	長田	松岡	平松	金尾	森	宮田好	小林	倉野	川上博	宮田公
認定第1号	令和6年度高梁市各会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第6号	TNR助成金予算化の請願書	○	○	○	●	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○

※議長は採決には加わりません。 ※他の議案は全会一致となりました。

「趣旨採択」とは
請願や陳情に対してその趣旨には賛同するが、実現にむけてもう少し慎重に進めていく必要があるときに使われる決め方です。

「TNR」とは
Trap (捕獲) Neuter (去勢・避妊手術) Return (返す) の頭文字を取ったもので、野良猫を捕獲し、去勢・避妊手術を行い、その後元の場所に返す活動を指します。

高梁市議会 YouTube公式チャンネル 配信中!
高梁市議会 Youtube チャンネルで、過去の一般質問を見ることができます。

高梁市における安心の仕組みと持続可能な財政を見据えて問う



長田 伸彦 議員



▲動画視聴はこちら

「#7110」救急車を呼ぶべきか電話で医師や看護師に相談ができる体制について

長田 3月定例会、6月定例会で要望をしていたが、その後の進捗はどうか。

健康福祉部長 令和8年度からの実施に向けて調整している。

厳しい財政状況の市民への説明と市長の姿勢について

長田 現状、収入より支出が多く、借入れや基金に頼らなければ行政サービスの維持が困難なことを市民にどう受け取ってほしいのか。

市長 市の財政は楽観できる状況にない。短期的には施策の縮小

も避けられないが、3年間で構造改革を進める覚悟である。

長田 自らごんな市にしてい

かという将来像を明確に示し訴えていかなければならない。その上で成果を出していく。その姿勢と覚悟を聞きたい。

市長 節約や削減ばかりでは市民生活に夢がなくなる。支出の見直しと同時に、収入の確保にも取り組む必要がある。市として「どのような市を目指すのか」を明確に示さなければいけない。責任ある財政運営を進めていくことを約束する。

地元を支える仕組み改革&化石が拓く未来



川上 雅美 議員



▲動画視聴はこちら

少額物品調達等契約希望者簡易登録制度について

川上 現在の上限額10万円は、制度を作った当初と比べると実情に合わなくなっている。特に地元の小規模事業者が受注しやすくし、地域経済を回していくためにも、上限額を20万円程度に見直すことが必要だと考える。本市としてもその方向で検討すべきではないか。

総務部長 上限額を見直すことで、市内事業者の受注機会が増えたり、契約書や見積書作成といった事務手続きが簡単になるメリットがある。一方で、入札や見積り合わせの執行に影響が出る可能性もあるため、物価高騰や他市の状況も踏まえ、総合的に判断してまいりたい。

成羽美術館について

川上 この度の魚竜化石の発見は成羽地域にとって大きなチャンスであるが、市民の関心が低い点が課題。子どもへの教育や体験イベント、デジタル発信などを通じて関心を高め、観光や地域の魅力発信につなげていくため、市としてどのように取り組まれるのか。

教育次長 教育面では、新たな企画展等の実施、また学校等への出張講座の実施などを考えている。観光面では、市内の観光施設や岡山理科大学、福井県立恐竜博物館と連携し、調査研究の情報を発信して来訪者の増加につなげていきたい。

新たな観光資源 発見!!



前野 洋行 議員



▲動画視聴はこちら

備中たかはし松山踊りについて

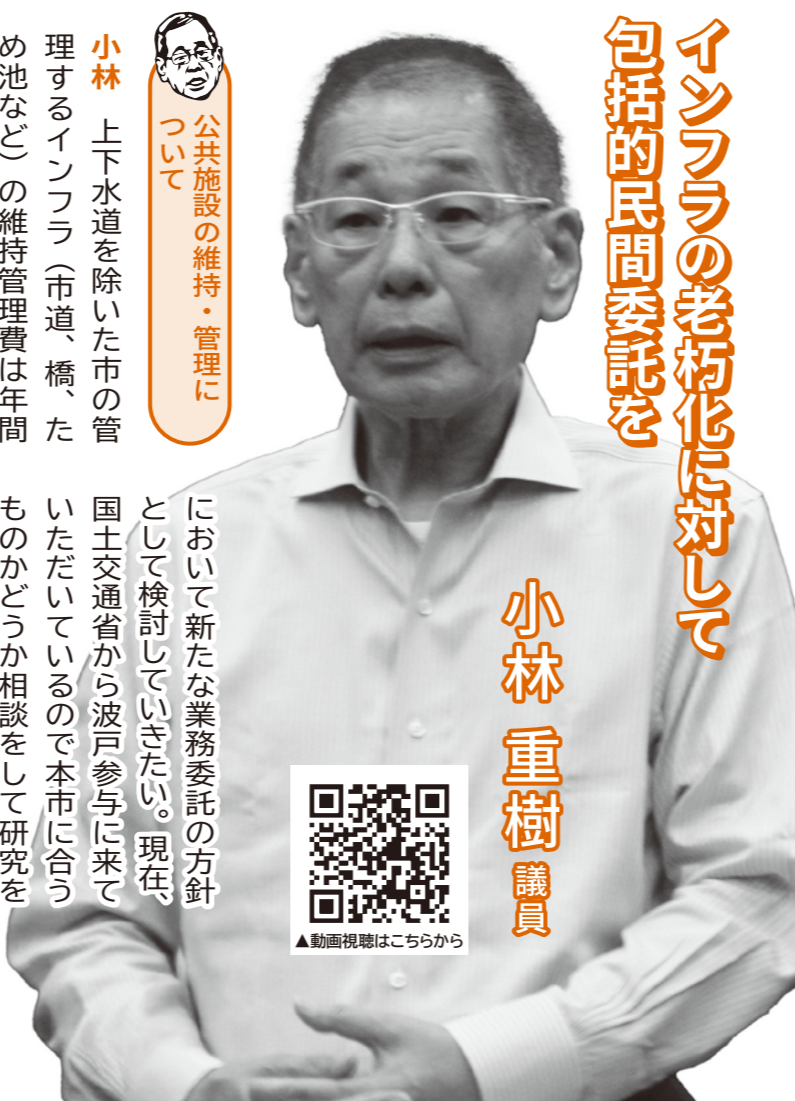
前野 今年で378年を迎える「備中たかはし松山踊り」は、保存会や観光協会を中心に運営が行われ、毎年、新たな試みも検討されており、今年は、栄町交差点に位置する空き店舗を活用した有料休憩所を設け、3日間好調に利用された。この場所に音頭櫓を常設し、『備中松山踊り会館』といった拠点となる施設整備はできないか。

ラ・フォーレ吹屋への冷鉱泉活用について

前野 ラ・フォーレ吹屋の再開に向けた民間活用の募集が始まっているが、現在地元吹屋では任意団体を立ち上げ、冷鉱泉の活用について議論されている。募集のあった事業者への逆提案はできないか。

産業経済部長 活用できるというのであれば観光資源として強みになる。今後、事業者からの問い合わせに対し、近隣に冷鉱泉があるという情報を伝えさせていただき、提案に反映できるのであれば反映していただきたいと考えている。

インフラの老朽化に対して 包括的民間委託を



小林 重樹 議員



▲動画視聴はこちら

公共施設の維持・管理について

小林 上下水道を除いた市の管理するインフラ（市道、橋、ため池など）の維持管理費は年間いくらかくらいかかっているのか。

土木部長 市道の草刈や修繕に関わる費用と維持管理を行う職員の人件費といったものも含めて令和6年度では約1億6千万円である。

小林 職員の負担軽減、経費削減のためにも「包括的民間委託」に取り組むべきではないか。

土木部長 「包括的民間委託」については複数の業務をまとめて民間業者に委託する仕組みと認識している。技術職員の確保や育成が非常に難しい本市の現状

において新たな業務委託の方針として検討していきたい。現在、国土交通省から波戸参与に来ていただいているので本市に合うものかどうか相談をして研究を進めていきたい。

小林 波戸参与の考えを聞いた。

参与 先月、国土交通省中国地方整備局の道路インフラを担当する職員を招いて維持管理に係る勉強会を開催した。その際に、「包括的民間委託」についても本市の職員と意見交換を行った。今後も国土交通省中国地方整備局とのパイプ・コンタクトの役割を担い、相談や研究に対して尽力したいと思っている。

市民の暮らし最優先



市発注の契約について

藤岡 市発注の契約について、「公正・公平」を前提に地元最優先となっているのか。

総務部長 入札指名基準に基づき市内の業者を原則として選定するように運用している。



ごみ処理について

藤岡 家庭から出る粗大ごみについて、自己搬入の場合、家族であるという証明があれば、無料引き取ってもらうのか。

市民生活部長 免許証などを提示いただき、家庭による搬入であることを示していただくと受け入れている状況である。



農業の振興について

藤岡 新規就農者等に予算を上して支援体制の確保はできないか。

産業経済部長 主力になっているトマト、ブドウに力点を置いて農家支援を行っている。



市民からの要望に対する対応について

藤岡 市民からの要望に対して、窓口で「財源がない・お金がない」とよく聞かすが、どう考えているのか。

企画財政部長 要望に対する考え方、検討の過程を丁寧に説明させていただく。



▲動画視聴はこちらから

藤岡 善行 議員

強化集中プランをしてまで厳しい行財政改革を進める必要があるのか



財政見直しと行革の取り組みについて問う

平松 大幅な財源不足の要因は何か。

企画財政部長 歳出面では社会経済情勢の変化による物価高騰や人事院勧告による人件費の上昇等により経常経費が増加している。こうした要因から、地方交付税、市税といった歳入の伸びが追い付かず、財源不足は当初の想定を上回っている。

平松 なぜ、高梁市は強化集中プランとしてさらに厳しい行財政改革を進めないといけないのか。

企画財政部長 高梁市特有の要因としては、経常収支比率が高く財政に余裕がないこと、人口減少に見合ったスリム化が十分に進んでいないこと、さらに、平成30年豪雨災害により基金が大幅



▲動画視聴はこちらから

平松 久幸 議員

に減少したことが挙げられる。

平松 岡山県が財政危機の時にどのような取り組みがあったのか。

副市長 岡山県では、平成20年には毎年約300億円規模の収支不足となり「財政危機宣言」を発し、集中的な改革を行った。行政の守備範囲や官民の役割分担について、あらゆる事業をゼロベースで見直した。今後はこうした県の視点や取り組みを基に他の自治体の事例も参考にし、本市の施策に取り入れていく。

平松 行財政改革を進める上で、市長自身の覚悟をどのように示されるのか。

市長 私自身の報酬についても、リーダーとして自ら姿勢を見せていくことが不可欠であると考えている。

移住を促進するならば学校の統廃合に矛盾あり



移住・定住と教育環境の整合性について

松岡 移住促進・定住支援を進める一方で、少子化により幼稚園や小中学校の休園・統廃合が進んでいる。これは「子育て世帯を呼び込みたい」という施策と矛盾しているのではないか。

教育長 移住先に環境の整った学校があるのが望ましいが、小規模校ではコミュニケーション力が身につけにくい場合もある。通学手段を確保すれば、協働的な学習ができるなど、より良い教育環境の整った学校もある。現行の配置計画では後者を選んでいる。



他市町村の保育所・幼稚園への通園の実態と支援について

松岡 他市町村へ通う園児の実



▲動画視聴はこちらから

松岡 隆雄 議員

態と支援についてどうなっているのか。

教育長 現在、平川地区から5人、西山地区から1人が通園し、保育経費は国・県・市で分担している。おむつ等の経費は市内未就園児と同条件で補助している。



スクールバスの活用について

松岡 スクールバスに園児は乗せられないのか。

教育長 0〜5歳児をスクールバスに乗せると補助員が必要であるが、国は補助を考えていないため実施は困難である。

松岡 保護者負担軽減のため支援を考えていただきたい。

半年間なしのつづて！真摯な態度を示せ、市教委!! 準備委員会はリセットを!!



川上中学校区学校再編準備委員会について

金尾 学校園再編準備委員会の第2回が開かれないのはなぜか。

教育長 再編後の通学手段の協議に時間を要し、第2回の準備委員会を7か月間開催できなかった。

金尾 保護者・学校・園に状況を連絡するべきではないか。市教委への不信感が募っている。8月18日開催の公共交通会議の資料の中に「令和9年4月に川上中は成羽中に統合」という一文があった。誰が決定し、どのような意図で記載されたのか。

市民生活部長 8月の公共交通会議で、乗合タクシーの導入、生活福祉バスの廃止の見直しを説明している。その中での資料である。

金尾 このような文章が出ることで、令和9年4月統合あり



▲動画視聴はこちらから

金尾 恭士 議員

きではないか。

教育長 適正配置計画に基づく提案であり、時期可否については準備委員会で詰め、同意が得られた時点で決定する。

金尾 準備委員会をリセットしてやり直すことを強く申し入れる。



サル被害対策について

金尾 高梁市のサル被害の対策について問う。

産業経済部長 8月に真庭市で開催された野猿被害対策勉強会に参加した。「地域が一体となって取り組む」ことが必要であることを学んだ。

金尾 今後、高梁市はどのような対策を行っていくのか。

産業経済部長 組織、地域、コミュニティで取り組んでいただくよう啓発していきたい。

純損失額2億1千万円の成羽病院をどうするのか



成羽病院の経営改善について

森 病院の経営改善についてコンサルティングを実施すると聞いているが、大きな決断を迫られる時がきているのではないかと。

市長 成羽病院の医療、市有の介護施設をどう考えていかなければならないかということや今年度コンサルタントをお願いしている。この結果というものは森議員の予想と違わない大変厳しいものになってくるのではないかと考えている。結果については報告できる形になってから議会には報告させてもらう。成羽病院は公的医療機関としての役割もあるので、市民にどういった医療を提供していくか、経営をどう成り立たせていくか両輪で考えていかなければならない。



市の備品処分について

森 市の備品を市民に安価で譲渡するか、ネットのフリーマーケットサイトなどで販売してはどうか。

企画財政部長 公用車やピアノなど一定の需要が見込まれるものについては、官公庁オークションに出品を進める。それ以外の備品については、市民への譲渡を目的とした即売会を検討していく。さまざまな観点から備品の有効活用を図っていきたい。

森 市が認めるボランティア団体には市の備品について無償での譲渡は考えられないか。

総務部長 まずは担当課に相談していただきたい。柔軟な対応が可能か検討していく。



▲動画視聴はこちらから

森 和之 議員

行革強化集中プランの内容を、はつきり教えてほしい！



行財政改革について

榎 3年間で5億円の収支不足を補う「行財政改革強化集中プラン」の取り組みについて、人件費の削減をするのであれば、職員給与の管理職手当なのか、それとも期末勤勉手当なのか、また、公共施設の再配置を前倒して行うのかなど、どこまで踏み込んだものになるのか、具体的な内容について教えてほしい。

市長 行政経費や事業の効率化、人件費など、聖域を設けずあらゆる分野に踏み込んで改革を断行する考えである。現在担当課で詳細を積算中であり、決定次第、報告させていただく。

榎 隆宏 議員



▲動画視聴はこちらから

榎 行革には公営企業の経営改善も項目に入っているが、成羽病院について、存続、縮小する判断基準は決まっているのか。

市長 成羽病院については判断基準を明確にするため、本年度コンサルタントを入れ、しっかりと検証してもらう。上下水道事業についても、すでに経営プランを策定しており、それに基づき判断していく。



高梁市国民健康保険成羽病院

若者、女性に選ばれるまちを目指すのであれば、産前産後ケアの充実を



助産院について

小黒 産科、助産院、産前産後ケア施設整備は市内でどこまでが現実的か。

健康福祉部長 分娩できる医療機関の新設は困難である。産前産後ケアは大変重要であると認識している。

小黒 産後担当保健師に切れ目なく安心して相談できる仕組みをどのように考えているか。

健康福祉部長 日常的に情報共有に努め、人事異動の際にはしっかりと引き継いでいる。オンラインでの健康医療相談の実証事業も実施中であり、24時間体制で電話やメッセージチャット等で医師、助産師に直接相談できる。

小黒 助産院を個人で開業しようと思える方へ市が支援できないか。



給食センターについて

健康福祉部長 国の産後ケア施設改修費等支援事業というものが新設されており、よく研究して活用につなげたい。

小黒 高梁学校給食センターの老朽化について改修や建て替えを考えているか。

教育次長 現状では大規模改修・建て替えは考えていない。しかし、夏場の暑さ対策を含め今後改善・検討が必要であると認識している。

小黒 給食センターへ出向き現場の声を聴くべきではないか。

教育次長 現場からの話をよく聴いて、必要な改善を検討していきたいと思っている。



▲動画視聴はこちらから

小黒 ゆかり 議員

産廃処分場の許可取り消しについて



産廃処分場の許可取り消しについて

宮田 岡山北エバーグリーン(株)の事業許可が取り消しになった理由は何か。

市民生活部長 県の説明では、事業者が浸透水の水质が悪化したと認識し、無許可で配管を設置し地下に浸透させていたとのことである。

宮田 産廃処分場の排水は、佐与谷川から有漢川、高梁川に流れている。どのように安全性を保つのか。

市民生活部長 事業者に適正に管理するよう県が指導する。また県や市も適時水質検査を継続している。

宮田 万が一、事業者が管理できなくなった場合はどうなるのか。

宮田 好夫 議員



▲動画視聴はこちらから

市民生活部長 事業者が維持管理積立金を取り戻して管理すると確認している。制度上、県が行政代執行を行った場合も積立金を取り戻すことは可能と説明を受けている。



野良猫対策について

宮田 野良猫を保護している人も野良猫で迷惑している人も、市の対応を求めているのではないか。

市民生活部長 過去の定例会でも多くの提案があった。今定例会では請願も出されている。下半期から野良猫保護団体を環境保全活動として支援したい。さらに県の地域猫活動登録団体であれば加算も行いたい。